



肢・病併置校 東京都立光明学園 学校通信① 平成29年4月6日号

光明の学び

東京都立光明学園

校長 田村 康二郎

東京都世田谷区松原6-38-27

電話 03-3323-8421

肢・病併置の教育拠点「光明学園」が開校！

初めまして。開校と同時に着任いたしました校長の田村康二郎（たむら かつら）と申します。

東京都立光明学園は、この平成29年4月1日に新たなタイプの併置型特別支援学校として開校いたしました。本学園は肢体不自由教育部門と病弱教育部門の2部門を併置し、それぞれに小・中学校（義務教育）に相当する小学部・中学部と、高等学校に相当する高等部を有する特別支援学校です。（本校での教育、国立成育医療研究センター内にある「そよ風分教室」での教育、自宅や病院に教員が出向いて行う訪問教育の3形態があります。）

ここで、本学園を開校の前日まで親身に支えていただいた両母体校について敬意と感謝の気持ちを込めて御紹介させていただきます。旧光明特別支援学校は、日本で肢体不自由教育を初めて行った公立学校として85年の伝統を積み上げてきました。また、旧久留米特別支援学校は、都内における病弱教育の一大拠点として80年の伝統を積み上げてきました。こうした歴史ある両母体校の教育的蓄積と伝統・文化を継承・発展させることにより、新たな光として「光明学園」に学びの火が灯ったのです。

校訓は「可能性の追求」です。学園生一人一人の可能性を追求します。教職員はそのためには研修や教材準備に励み、質の高い授業実践に挑みます。スクールカラーは「アースブルー」。澄み渡った広い空・生命の起源である海等、生きるために大切な要素を感じるカラーとしました。この色彩は安心・安全・清潔のイメージをも表現しています。標準服も導入しました。生徒たちが誇りとできるデザインであるようにと念入りに選定しました。（肢体不自由教育部門の生徒には、着こなすための工夫をふんだんに取り入れてあります。どうぞ、光明学園に御期待ください。

おめでとう！ 就学・転入・進級・高等部入学

桜咲く光明学園ようこそ！

小学部への就学、新学年への進級、中学部への進学、高等部入学、おめでとうございます。

「光明の学び」（授業等の学校生活）を通して力を付け、可能性を拡大し、夢を実現していきましょう。教職員一同、全力でサポートいたします。

校訓「可能性の追求」～積み重ねを大切に～

光明学園の校訓「可能性の挑戦」について御説明します。学園生は、自分たちの可能性を信じて努力をする。教職員・専門家等が支援の輪となってつながって総力を結集し、学園生一人一人の可能性を徹底的に追及します。その可能性を求め引き出す場が日々の授業をはじめとした様々な教育活動です。本学園では、その積み重ねを大切にします。

両部門の学園生 総数206人で発進！

新たな学校の形態をお知らせします。

◆本校で学ぶ学園生

○肢体不自由教育部門…通学籍
…在宅訪問籍

○病弱教育部門 …寄宿舍籍

◆分教室で学ぶ学園生

成育医療研究センター内設置
○病弱教育部門…そよ風分教室籍（センター入院の方）
…病院訪問籍（地域の各病院入院の方）

上記の2拠点2部門に在籍する学園生数は、現時点では、**206名**です。（日々変動します。）

内訳：肢体不自由教育部門の学園生173人

内訳：病弱教育部門の学園生33人

※教職員は総数212人

一つ学園としての愛校精神を育てるとともに、母校に誇りが持てるように指導をしていきます。

教職員体制をご紹介します！

学園の教職員体制についてお知らせします。

- ・田村 康二郎 統括校長⇒両教育部門統括
- ・右島 千秋 経営企画課長⇒事務部門統括

副校長は以下のとおり、3名体制です。

杉本 順 副校長

⇒肢体不自由教育部門 中学部・高等部の統括

永島崇子副校長

病弱教育部門（分教室・病院訪問を含む）・寄宿舍の統括

佐々木孝之副校長

⇒肢体不自由教育部門小学部・在宅訪問の統括

※教職員の異動等は別頁を御参照ください。

指導体制(学年・学級編制)の構築にあたって

各学年・学級の編制及び指導担当教職員につきましては、最初の登校日(始業式日又は各入学式日)に配布の学年通信等によりお知らせいたします。

なお、各学級の編制に当たっては、都教育委員会が定める基準を踏まえ、下記の観点で行いました。

普通学級と重度・重複学級の考え方

東京都が定める特別支援学校学級編制規準は、小・中学部普通学級は児童6名以内/担任1名
高等部普通学級は生徒8名以内/担任1名
小中高の重度・重複学級は3名以内/担任1名
小中高の病院訪問学級は3名以内/担任1名
小中高の在宅訪問学級は3名以内/担任1名と定められています。

重度・重複学級は特に少人数の学級ですので、担当教員との固定的な関係を重視し、きめ細かく指導・介護ができる利点があり、健康・発達面で特段の配慮が必要なお子さんに向いています。

一方、**普通学級**は、クラスの人数が多い分、多様な刺激を受け人間関係等が広がりやすい良さがあります。ところで、普通学級数は児童・生徒数に応じて配当されますので、例えば、小1児童が6名だと1学級、7名だと2学級と人数規模に応じ学級数が自動的に増減します。一方、重度・重複学級数の総数は全都で定められており、都内全校の在籍者や入学予定者の実態を都教育委員会が詳しく調査・観察した上で、前年度末までに学校毎の配当学級数が決まるところが、普通学級の増減と異なるところです。

本校では、重度・重複学級の編制に当たっては、上記の考え方に基づき、特別支援教育の専門家として、お子様の実態を踏まえて行いました。更に学校生活の基盤は何と言っても学級ですので同学年で一つの学級となるように工夫して編成しました。初日にお配りする学部・学年・学級の一覧を御覧ください。

担任教職員等の配置の考え方

都教育委員会規準では、小・中学校と同様に特別支援学校も1学級1名の教員配置となっています。これとは別に特別支援学校の教職員配置基準により学校全体に配置される教職員数を各学級の実態に応じて更に加え、複数担任配置としている場合もあります。本校では、配置された教員と学校介護職員(肢部門のみ)を男女バランス、所持する教員免許や指導・介護

経験等を加味してより良い指導体制となるように配置しました。

6日 始業式で学校生活スタート!

学習の節目である各学期の始業式・終業式・修了式では、学園生が一堂に会し、表彰や通知表授与、学習活動の報告等も行う「集団の場を学ぶ」大切な教育活動です。

7日に小・中入学式・10日に高入学式・開校式

入学式は、小・中の義務教育と後期中等教育の高等部に分け、両部門合同で行います。日頃の授業は別々ですが、こうした儀式では同じ年代の多様な友達と一緒に儀式に参加できるようにしています。7日は両部門合同の小・中学部入学式です。10日は両部門合同で高等部入学式を行い、引き続き、簡潔に開校式を実施いたします。

この式典では、この地で歴史を重ねてきた旧光明特別支援学校校歌を引継ぎ、新学園校歌として御披露するとともに、母体の両校の児童・生徒達から募った言葉を紡いだ式歌「僕らは翼を持っている」も御披露いたします。

学校介護職員39名、病院訪問教育支援員3名を配置

これまでと同様に介護の資格や経験を有する専門職として、学校介護職員が本校の肢部門に39名が配置されています。また、病院訪問の円滑な実施や質的向上を目指した新たな制度として訪問教育支援員3名が配置されました。そよ風分教室を執務場所として、担当業務にあたります。どうぞよろしくお願ひします。

4/14(金)に全校保護者会を開催

年度初めの全校保護者会では、以下の内容を御説明いたします。/校長着任の御挨拶/光明学園の教育/学級編制と指導体制/学校経営計画他。

本学園では、家庭と学校の共通理解の要となる保護者会を大変重視しています。学校教育と家庭教育の役割を踏まえながら、協力し合ってこそ、「成長」という果実が手にできます。力を合わせ、お子様の前途に「光」を照らしていきましょう。

新学園通信「光明の学び」第1号を発行!

肢・病併置の学校として機能を拡充してスタートした光明学園にかかわる皆様に、本学園の様々な教育活動を説明や学園生の活躍等の紹介等の諸情報を発信する学園通信を「光明の学び」と命名して、本日第1号を発刊いたしました。どうぞ御愛読ください。 校長 田村 康二郎